

## 令和元年度「京丹後市いじめ調査（1回目）」結果について

## 1 実施状況

- (1) 未調査：3名（小3・小6・中3）は、  
長期欠席児童生徒である。
- (2) 家庭訪問での実施：中学校13名

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2262	1373
調査児童生徒数(人)	2260	1372
未調査児童生徒数(人)	2	1
実施率	99.9%	99.9%

## 2 認知と解消について

## (1) 認知と未解消

件数		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	小学合計	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
(各学年の調査人数)		395	382	372	411	458	442	447	463	462	2460	1372		
認知	男子	32	31	61	40	35	23	11	9	2	222	22	11,066	1,170
	女子	42	38	43	43	26	8	7	9	5	200	21		
	合計	74	69	104	83	61	31	18	18	7	422	43		
未解消	A要指導	13	7	25	14	6	2	0	0	1	67	1	1,380	154
	B要支援	0	1	11	8	3	5	2	2	1	28	5	1,176	214
	C見守り	61	59	64	61	51	23	16	16	5	319	37	8,336	793

A:行為止んでおらず被害者の苦痛あり    B:行為止んでいるが苦痛あり    C:行為済み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市すべての小・中学校で、いじめを認知している。

イ 未解消のA要指導件数は小学校67件（H30同調査比+19件）、中学校1件（H30同調査比-1件）  
B要支援件数は小学校28件（H30同調査比-3件）、中学校（H30同調査比+4件）である。

## (2) 認知率

認知率	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	小学合計	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
平成27年度	26.2%	23.0%	12.1%	12.8%	11.0%	8.8%	6.0%	5.4%	1.8%	15.4%	4.3%		
平成28年度	26.1%	26.7%	26.0%	17.8%	12.9%	11.9%	6.0%	2.2%	1.4%	20.0%	3.2%		
平成29年度	38.3%	26.7%	24.9%	20.2%	14.2%	6.8%	4.8%	3.1%	0.7%	21.2%	2.8%	21.5%	4.3%
平成30年度	24.4%	29.9%	21.1%	20.2%	13.0%	5.9%	5.0%	3.5%	0.8%	18.6%	3.0%	20.4%	3.8%
令和元年度	18.7%	18.1%	28.0%	20.2%	13.3%	7.0%	4.0%	3.9%	1.5%	17.2%	3.1%	18.6%	4.0%

ア 平成29年度以降、小学校は、認知率が低下、中学校は微増している。

京都府の出現率と比較すると、小中学校共に、京都府よりやや低い。

イ 同一学年を昨年度と比較すると、すべての学年で減少している。

## (3) 解消について（平成30年度）

解消率		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
1回目	認知件数	93	111	87	93	58	27	23	16	4
	解消件数	90	98	81	81	55	24	23	16	3
	解消率	96.8%	88.3%	92.0%	87.1%	94.8%	88.9%	100.0%	100.0%	75%
2回目	認知件数	109	109	93	86	50	36	18	18	4
	解消件数	106	96	89	80	48	34	16	18	4
	解消率	97.2%	88.1%	95.7%	93.0%	96.0%	94.4%	88.9%	100.0%	100.0%
3回目	認知件数	65	104	73	57	26	25	10	3	1
	解消件数	60	88	70	51	25	25	10	2	
	解消率	92.3%	84.6%	95.9%	89.5%	96.2%	100.0%	100.0%	66.7%	

ア すべての認知件数において聞き取り調査を行い、本人だけでなく保護者にも理解をいただき解消に向けて取組をすすめている。

イ 未解消については、指導により一旦止んだいじめが3カ月以内に繰り返され解消に至らないケースが多い。

(3) 態様の状況について

いじめの態様	小学校					中学校				
	平成30年度		令和元年度			平成30年度		令和元年度		
	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合	1回目 件数	1回目 割合	1回目 件数	1回目 割合	京都府 割合
①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	273	41.9%	242	39.2%	36.7%	31	50.8%	33	55.0%	52.40%
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	61	9.4%	75	12.1%	12.9%	4	6.6%	6	10.0%	8.30%
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	140	21.5%	115	18.6%	18.7%	7	11.5%	6	10.0%	13.80%
④ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	65	10.0%	70	11.3%	8.7%	5	8.2%	4	6.7%	5.10%
⑤金品をたかられる。	11	1.7%	11	1.8%	2.1%	1	1.6%	0	0.0%	1.2%
⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	16	2.5%	21	3.4%	4.6%	0	0.0%	2	3.3%	3.3%
⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	50	7.7%	60	9.7%	8.9%	2	3.3%	3	5.0%	5.2%
⑧パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	7	1.1%	2	0.3%	1.2%	2	3.3%	4	6.7%	4.1%
⑨その他	28	4.3%	22	3.6%	6.1%	9	14.8%	2	3.3%	6.6%
合計	651		618			61		60		

ア 態様件数の変化

小学校で33件、中学校で1件であった。

イ 態様項目等について

(ア) 全体的には、京都府と同じ傾向である。

(イ) 全体的な態様件数は減少しているが、小学校の「仲間はずれ、集団による無視」「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」の態様が、昨年度同調査より10件以上増加している。

(ウ) 小・中学校ともに増加している態様は、「仲間外れ・集団による無視」「金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられる」「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」の3項目である。

エ その他の態様について

(ア) 「その他」の態様についても、内容を学校が個別に聴き取りを行い把握している。

(イ) 「その他」には小中学校共通して「個人による無視」、小学校では「遊びの中でのトラブル」等があげられている。

3 重大事態について

1回目調査、および本日までにおける「重大事態」の認知はない。